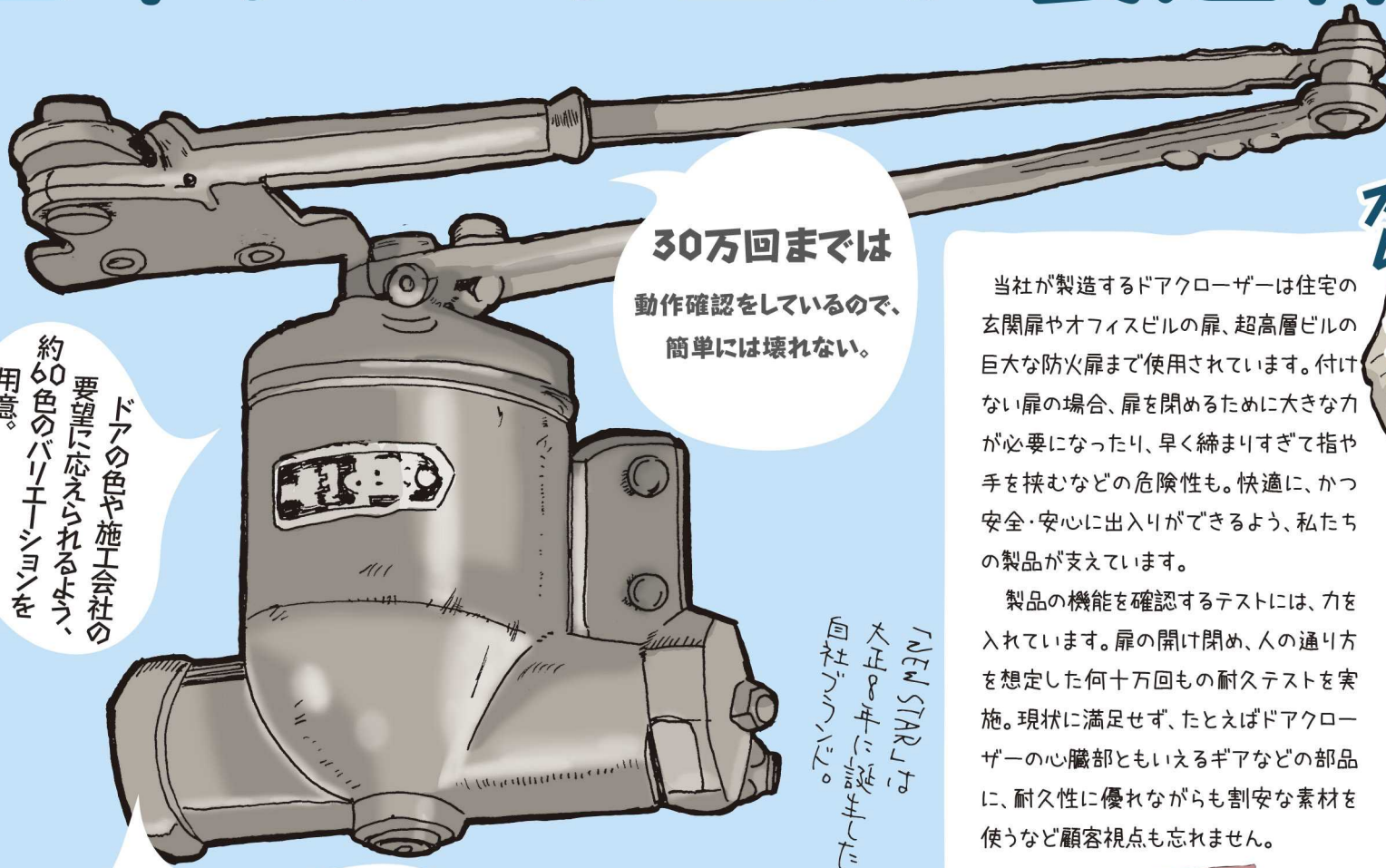


# 日本ドアチェック製造株式会社



30万回までは  
動作確認をしているので、  
簡単には壊れない。

当社が製造するドアクローザーは住宅の玄関扉やオフィスビルの扉、超高層ビルの巨大な防火扉まで使用されています。付けない扉の場合、扉を閉めるために大きな力が必要になったり、早く締めすぎて指や手を挟むなどの危険性も。快適に、かつ安全・安心に出入りができるように、私たちの製品が支えています。

製品の機能を確認するテストには、力を入れています。扉の開け閉め、人の通り方を想定した何十万回もの耐久テストを実施。現状に満足せず、たとえばドアクローザーの心臓部ともいえるギアなどの部品に、耐久性に優れながらも割安な素材を使うなど顧客視点も忘れません。

日本で初めてドアクローザーを製造  
スムーズかつ安全に扉が閉まる

取締役社長 出向 井康司さん

ドアの色や施工会社の要望に応えられるよう、約60色のバリエーションを用意。

NEW STAR  
大正8年創業  
自社生産品

バルブで油量を制御。  
バネだけだと、  
パタンと閉まってしまいが、  
油圧量でドアが  
閉まるスピードを制御できる。





## 日本で初めてドアクローザーを製造 スムーズかつ安全に扉が閉まる

ドアーチェックはドアクローザーとも言うが、開いたドアをスムーズかつ安全な速度で静かに閉じるために、ドア上部についている装置。同社は大正8年に、「NEW STAR」というブランド名で、ドアクローザーや床に埋め込んで開閉スピードを制御するフロアヒンジなどの製造を、日本で初めて行った。昭和20年代後半の建築ブームでオフィスビルが急増し、同社の需要も急増。オフィスビル以外にもマンションや公共施設なども増え、同社では製造工場を増やすなど成長を遂げていった。

ドアクローザーを装着するドアは、木製や鉄製、樹脂で出来たものなど種類があるため、ドアの種類に応じてドアクローザーも異なる。また、開閉の多いドア、ドアの大きさや形によっても種類が変わる。そのため、同社でも規格品ドアにあわせた量産タイプのほか、受注生産で手作りするタイプも。また、空間を有効に使えたり、高齢者など力のない方でも楽に開閉できる引戸扉用のクローザ、火事の煙を感知するとスイッチでドアが閉まる防護扉用のヒンジなど、必要に応じた商品も展開する。

ドアクローザーは、バネ(スプリング)と油圧でドアの閉まるスピードを調整するという構造は、昔から変わっていない。特許も取得していたが、存続期間は終わっているため同社の製品をマネた類似品も。それでも長年、培ってきた技術力、品質の高さ、安全性に自信を持っている。そして今では日本だけでなく、サウジアラビアやフィリピン、ベトナム、香港、中南米など、海外でも同社の製品は高い評価を集める。

### 日本ドアーチェック製造株式会社

http://www.e-newstar.co.jp/  
〒544-0014 大阪市生野区巽東3-17-10  
TEL 06-6758-1251 FAX 06-6758-0728

事業内容/ドアクローザー、フロアヒンジ、ピボットヒンジ、オートパワーヒンジ、引戸クローザ、防災機器、ヒュース装置の企画製造

平成11年度に  
グッドデザイン賞を  
受賞しました。

茨城工場がドアクローザーの  
大量生産をメインに受け持ち、  
大阪では中量多品種の工場として  
生産性が向上する予定です。

ネーリング装置の生産性が  
高くなった場所所用に  
「60mmシリーズ」として  
製品も展開する予定です。

「スムーズな扉が、  
美しく開閉する時代へ」  
に取組んでいます。



表紙に  
「NEW STAR」のロゴを  
大きく取り、ホームセンターなどで  
活用してほしい。

## 我が社の 自慢 野球グラウンドもある 巨大な敷地

6000坪もの広大な敷地には、野球グラウンドを構える。社内の野球チームの練習や試合として使用されたり、地域の子ども会の行事にも利用される。

